

来らいぶらり

回覧

電子版
「来ぶらり」は
こちらから
ダウンロード
できます。



毎月第3日曜日は家庭読書の日



● 興味津々・インフォメーション（講演・イベント・展示など）

【2022・第76回読書週間】 標語「この一冊に、ありがとう」

■ あなたがすすめるこの一冊

おすすめの本に読みたくなるようなコメントを添えてご応募ください。

募集テーマ：「この一冊にありがとう」 参加者：どなたでも参加出来ます。

※お名前と利用者番号を記入した方のみプレゼント抽選の対象となります。

ジャンル：明治以降の作家であればどのジャンルでも可。 募集期間：10/16(日)まで



■ 本のテーマ展示 期間：10/27(木)～11/29(火)

① あなたがすすめるこの一冊 テーマ：「この一冊にありがとう」

「あなたがすすめるこの一冊」にて投票された本を展示します。

② 「館長お薦めの3冊」おすすめの本とコメントを展示します。

③ 山形県図書館大賞2022「不思議な話の本」

県内図書館職員の投票によって選ばれた本を展示します。



■ 上山藩立藩400年企画展

国史跡「榎下宿」の魅力Ⅱ「ありし日の榎下宿～羽州街道参勤物語」

期間：10/23(日)まで

江戸時代、参勤交代に伴い榎下宿で休泊した奥羽各藩の関札（市指定文化財）を展示します。



■ 上山型温泉クアオルト事業15周年記念展

期間：10/23(日)まで

“クアオルトかみのやま” 未来シンポジウムの開催に合わせ、これまでのクアオルト事業の15年間の成果や取組を展示しています。

■ 読書週間イベント2022 トークショー

「ポエムの時間ー現代詩ってな～に？ー」

10月22日(土) PM1:30～3:00

出演：高 啓（こうひらく）氏／いとう柚子（いとうゆうこ）氏／万里小路譲（まりこうじじょう）氏

難解なことばのオンパレードのような印象をもたれている現代詩。読者離れがすすみはじめてから久しい。県内在住の3人はそんななか、継続的に現代詩と向き合い、表現に挑み続けている詩人たちです。実作をつづじて感じている現代詩の面白さ、表現することの意味、さらには直面している課題について語り合ってください。



■ リユースマガジンフェア 期間：10月25日(火)～11月29日(火) ※無くなり次第終了

図書館での役目を終えた雑誌や本を無料で提供します。 場所 ホワイエ、エレベーターホール前

『星野泰視複製原画展』を振り返って

上山市立図書館では、資料の収集保存・貸出・レファレンスといった図書館機能の充実を図るとともに、生涯学習の拠点施設として、講演・講座・展示を行うなど、多彩な企画で上山市の人・歴史・文化を掘り下げ、市内外に発信するとともに、皆様から楽しんでいただけるような企画づくりに努めております。



その中から、今年7月25日から約1ヶ月間開催した「星野泰視複製原画展」を紹介いたします。

(星野泰視先生の詳細なプロフィールにつきましては、右段をご覧ください。)

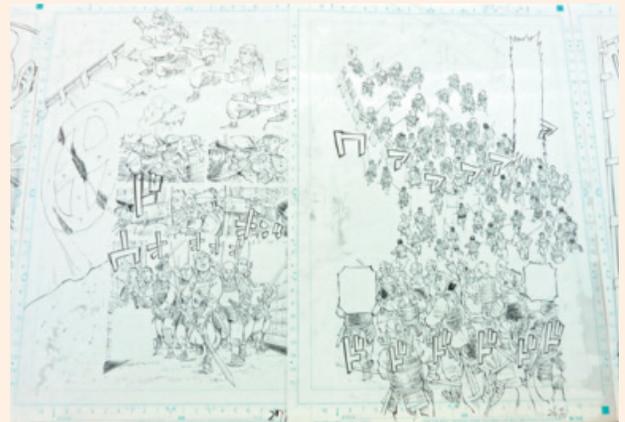
これまで、星野先生から先生執筆の漫画単行本等を当図書館にご寄贈いただいた折に、星野先生の原画展を当図書館で開催させていただきたいことをお伝えして参りました。この申し出に対し、星野先生は自ら出版社様や関係者様と交渉いただきました上に、企画展用のポスター画の描き下ろしや色紙、人物ペン画等資料をご提供くださいました。また、防犯対策等の観点から、複製原画を展示することとし、企画展開催の運びとなりました。

ご尽力いただきました星野先生はじめ関係者様に厚く御礼申し上げますとともに、企画展に足を運んでくださいました皆様に心より感謝いたします。

企画展開催中は夏休みと重なり県内外から多くの方にお越し頂きました。



今後も、当図書館の企画で次代を担う子ども達や若者達に夢を与え、上山市を誇れるようになり、併せて、市外の方に、上山市を知っていただき、訪れていただけるよう努めてまいります。



■星野泰視氏プロフィール：漫画家

1969年上山市栄町生まれ、東京都在住。1987年山形県立山形中央高等学校卒業、同年上京。1991年には、漫画家・浦沢直樹氏に師事しアシスタントとなる。

1997年、週刊少年マガジンにて、『哲也～雀聖と呼ばれた男』(原作：さいふうめい氏)を連載開始。同作品で、2000年度(平成12年)第24回講談社漫画少年部門受賞。

現在は、ヤングチャンピオンにて『日本を創った男～渋沢栄一 青き日々～』(秋田書房)を連載中。

主な著書に、『デラシネマ』(講談社)、『宗桂～飛翔の譜～』(将棋監修：渡辺明氏 リイド社)等がある。

感想をお寄せいただきましたので、一部紹介させていただきます。なお、いただきました感想は星野先生にお送りさせて頂きました。

「連載当時(哲也)、毎週楽しみにしていました。コミックも全巻持っていて、何度も何度も読んだのを覚えています。今回たまたまですが、上山市立図書館に足を運び、久しぶりに哲也の絵を見て当時のことを思い出しました。(略)」

「(略)上山出身の方で頑張られている方がいることは、自分たちも励みになります。きっと、若者たちの希望の星でもあるし、目標だと思います。(略)」

「(略)好きなマンガの作家さんが地元出身と知ってうれしくなりました。良い企画展をありがとうございます。」

「星野先生の作品が大好きで、展示会を拝見したく、関西から訪れさせていただきました。星野先生の描かれる、生き生きとしたキャラ、作風が大好きで、いつも活力をいただいております。(略)」

「天才！星野先生へ！(略)好きなマンガの原画展が無料で近くで見れて生きていて良かったです。(略)これからもっと哲也をいろんな人に知ってもらいたいです。(略)」

《「レファレンス」ってなに？そして、どこまで？》



公共図書館である上山市立図書館は、いつも利用者のことを第一義的に考えています。そのための大事な仕事の一つに「レファレンス」業務があります。「レファレンス」と言ってもなじみのない方もいらっしゃるでしょう。何でもカタカナにしてしまう昨今、わたし自身、勘違いしていることも多々ありますので、自戒をもって広辞苑で調べてみました。すると、「図書館で、資料・情報を求める利用者に対して提供される、文献の紹介・提供などの援助。参考調査業務。」とありました。

そこで、図書館に寄せられる「レファレンス」について個人的に悩ましく思っているケースのあることがふと脳裡をよぎりました。

「○○○について調べています。関連図書や参考になる資料などあったら教えて下さい」というのが、日常的なレファレンス依頼のありようです。もちろん依頼を受け、さっそく司書は「○○○」について書かれている本や関連資料を書誌データや自らの読書体験を総動員しながら抽出し、できるだけ迅速に依頼者にその情報を提供しようとするわけです。もちろん大抵の利用者はそれで納得して下さいませ。司書からの情報提供を受けて依頼者は

じぶんで調査なり研究なりを継続することになります。

ところが、ごく稀にそのレファレンスのあと「それらの資料に○○○についてどう書いてありますか？」と尋ねてきたりするケースがあります。そのことばにはニュアンスとして「ぜひ、あなたにも調べてもらいたいのですが…」という言外の願望がふくまれているように感じられるのです。たしかに気持は分かります。しかし…。

ここから先は、私個人のささやかな調査研究の経験からみえてくる直感的なことなのですが、それは、やはり図書館のレファレンス業務の領域を越えた要求なのではないかということです。本にかかわる専門職の司書といえども、超人ではありませんし、日常の業務も多岐に亘っています。利用者にはそのことをぜひご理解頂いたうで、レファレンスを活用して頂ければと思います。

言うまでもありませんが、皆さんに開かれた生涯学習の場としての公共図書館です。利用者にとってより一層楽しく、居心地のいい、成熟した施設に育てあげられるよう、職員一同、細やかな目配りを忘れず、今後とも努力していきたいと心しているところです。皆様のご利用を心よりお待ちしております。（館長 岩井 哲）

司書のつぶやき



今年も暑いっけね～。



んだねー。涼ば求めて図書館さいっぱい人来てけだっけねー。



あっ！そういえば。



いざなりなにした？



本この場所わがねくてレシート出した利用者さんにたまに聞かれんのよ。この番号、何なんだべ？って。



番号って、請求記号のごどがあ？



んだ。あんまり馴染みないんだべずねえ。請求記号。



んだがもね。請求記号ってザックリ言うど本の住所みだいなもの。本棚での場所どが並び順ば表してで、背表紙の下の方さ貼ってあるんだげんとね。館内の本は、みな分類ごとに並んで、0～9まであるんだげんと、利用者さんはあんまり意識すねよね。



例えば「451A」の本探すどぎは、まず本棚の「4」の場所さ行って「451」をさがす。あとは50音順に並んでから、「A」の場所からお目当ての本ば見つけるだけなんだげんとねー。



んだ。んでも、「探しても見つからね時はスタッフさ声かけてけるなー」ってやんなねんだべした。



んだね。利用者さ寄り添って、がんばって仕事さんなねんだっす。



郷土資料紹介とお知らせ

《郷土資料は、上山市在住・出身著者の方や上山に関する内容の資料です。》



『攻撃される知識の歴史ーなぜ図書館とアーカイブは破壊され続けるのかー』

リチャード・オヴェンデン／著・五十嵐加奈子／訳（市内出身）
柏書房 2022年5月発行 分類 O10.2 オ



『イスランの白琥珀ーVÜLNEIー』

乾石智子／訳著（市内在住）
東京創元社 2022年7月発行
分類 913.6 イ



『一遍の思想・信仰・その生涯ー「一遍上人語録」巻上／巻下』

高野修・大内惇（市内出身）／編著・福壽山西光寺
2016年2月／6月発行 分類 K188.6 タ



『越後警女とイザベラ・バードの峠越えー越後国岩船〜出羽国最上までの交易ー』

加藤和徳／著（市内在住）蓬萊波形山文庫
2022年7月発行 分類 K212.5 カ



『これからの仏教葬儀レス社会ー人生百年の生老病死ー』

櫻井義秀／著（市内出身）興山舎
2020年7月発行 分類 180.4 サ



『亮子よ』

佐藤藤三郎／著（市内在住）本の泉社
2022年8月発行 分類 K289.1 サ



『一茶』

高橋政光／著（市内出身）・邑書林
2022年8月発行 分類 913.6 タ



『日本を創った男〜渋沢栄一青き日々〜第5巻』

星野泰視／著（市内出身）秋田書店
2022年8月発行 分類 726.1 ホ



『研究誌第16号 上山の郷土』

上山郷土史研究会／編・発行
2022年2月発行 分類 K212.5 カ



『飛翔ー上市市立西郷第一小学校閉校記念誌ー』

西郷第一小学校閉校記念誌編集委員会／編
上市市立西郷第一小学校
2022年3月発行 分類 K376.2 ヒ

紹介している資料は購入分を除き、令和4年3月〜令和4年8月までに寄贈を受けた資料です。

定期開催の催し

○ よみきかせ

第1・第2・第4・土曜日
午前10時30分〜11時30分

○ 日本語・英語よみきかせ

第3土曜日 午前10時30分〜11時30分

○ これよんでコーナー

第3土曜日 午後2時〜3時30分

○ おはなし会（スプーンの会）

毎月1回 午前11時〜11時40分
開催日は市報でお知らせします。

◇「図書館ボランティア」を随時募集しております。
興味のある方は図書館までご連絡ください。

発行/上市市立図書館 上市市二日町10番25号
TEL 023-677-0850
<https://www.kaminoyama-lib.jp>

国立国会図書館デジタル化資料送信サービス

国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、インターネットに公開しておらず、絶版等で入手が困難な資料、約152万点（令和4年7月現在）を、上市市立図書館で閲覧することができます。上市市立図書館の利用カードをお持ちの方はどなたでも利用できます。ぜひ、調査・研究にお役立てください。

図書館利用案内



■ 開館時間：午前9時〜午後7時
祝日：午前9時〜午後4時30分

■ 休館日：毎週水曜日、振替休日
12月28日〜1月4日

振替休日と水曜日が重なった場合は翌日も休館